土曜
ASHUREY CLASS

原文で味わう詩篇

תהלים

No.33 (詩篇102篇) 2025. 9. 06

「詩篇」を学ぶ上で大切な視点

【新改訳2017】ヨハネの福音書5章39～40節

39 あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思って、
聖書を調べています。
その聖書は、わたしについて証ししているものです。
40 それなのに、あなたがたは、いのちを得るために
わたしのもとに来ようとはしません。

※イェシュアは私たちに聖書を正しく解釈することを教えています。それはイェシュアという鍵を入れ込むことで、初めて言わんとすることが見えてくるということです。
詩篇もそのように、預言的、奥義的、重層的に読んでいきたいと思います。
※詩篇は預言書です。詩篇の作者ダビデは、本体であるイェシュアを証ししています。
なぜなら、御子イェシュアはダビデの先取的存在だからです。

1．なぜ102篇がメシア詩篇なのか ①

【新改訳2017】詩篇102篇25～28節
25 あなたははるか昔に地の基を据えられました。天もあなたの御手のわざです。
26 これらのものは滅びます。しかしあなたはとこしえの方です。
すべてのものは衣のようにすり切れます。
外套のようにあなたがそれらを取り替えられると　それらはすっかり変えられます。
27 しかしあなたは変わることがなく　あなたの年は尽きることがありません。

【新改訳2017】ヘブル人への手紙1章10～12節
10 またこう言われました。
「主よ。あなたははじめに地の基を据えられました。天も、あなたの御手のわざです。
11 これらのものは滅びます。しかし、あなたはいつまでもながらえられます。
すべてのものは、衣のようにすり切れます。
12 あなたがそれらを外套のように巻き上げると、
それらは衣のように取り替えられてしまいます。しかし、あなたは変わることがなく、
あなたの年は尽きることがありません。」

1．なぜ102篇がメシア詩篇なのか ②

●ヘブル書は、詩篇102篇25～27節にある「あなた」を「主」、また「御子」として解釈されて引用されています。ところが、詩篇102篇25～27節の「あなた」を「御子」だと認識することは難しいのです。なぜなら、24節が以下のようになっているからです。

【新改訳2017】詩篇102篇24節
　私は申し上げます。
「私の神よ　私の日の半ばで私を取り去らないでください。
　あなたの年は代々に至ります。

●24節での「私」はメシア、「あなた」ことは誰のことだと思いますか。一見「あなた」は「御父」のように思えます。ところが、この「あなた」がヘブル書では、御子として解釈され、引用されているのです。どういうことでしょうか。

1．なぜ102篇がメシア詩篇なのか ③

●これを理解するためには、以下のように理解する必要があります。

【新改訳2017】詩篇102篇24～25節
24 私は申し上げます。
　「私の神よ　私の日の半ばで私を取り去らないでください。
>
　あなたの年は代々に至ります。
25 あなたははるか昔に地の基を据えられました。
　天もあなたの御手のわざです。

●このような手法が詩篇22篇21節にも見られます。そこでは事態が以下のように全く逆転しています。

「救ってください。獅子の口から野牛の角から。

あなたは私に答えてくださいました。」

●分かりづらくしているのは括弧の存在です。原文には括弧はありません。「私」はメシアですが、その「私」を「あなた」と御父が呼んでいると考えるなら、ヘブル書のように「あなた」を御子として解釈できるのです。

2. 詩篇102篇の構成 ①

●詩篇102篇の構成は、以下のとおりです。

(1) 1～11節には「私」という人称が28回登場します。
この「私」(メシア)は苦しみの中で、主である「御父」に訴えています。

(2)12～22節には「私」という人称は一つもありません。
「主」を「あなた」として語られ、「あなたはとこしえに御座に着き」
「あなたの呼び名は代々に及び」「あなたは立ち上がり(クーム:קוּם) 」
とあります。人称なき存在が「あなた」であるメシアを「主」として語っています。

(3)23～28節では、再び「私」(メシア)が登場し、私を「あなた」として
御父が応答し「あなたは変わることがない方 」としています。

2. 詩篇102篇の構成 ②

(1) 1～11節の「私」は、苦しみを主の前に注ぎ出しています。
その苦悩は「私の心は青菜のように打たれ」(4節)、「荒野のみみずく廃墟のふくろう」(6節)、「屋根の上のはぐれた鳥」のように、本来、鳥は群れで行動しますが、ここでは孤独を露わにしています。まさにゲツセマネを想起させます。

(2)12～22節では、人称なき存在がそのような「私」を「あなた」とし、「あなたは立ち上がり　シオンをあわれんでくださいます。今やいつくしみの時です。定めの時が来ました。まことにあなたのしもべたちはシオンの石(＝メシア)を喜び・・ます」(13～14節)と言い、シオン(エルサレム)を回復してくださる「定めの時」(モーエード：מוֹעֵד)の希望を語っています。

2. 詩篇102篇の構成 ③

(3)23～28節では「わが神よ。私の日の半ばに私を取り去らないでください」という御子の願いに対して、御父が答えられたことばを一文で要約するならば、それは「あなたは変わることがない」ということ、つまり、天と地にあるすべてのものが変わったとしても、あなたは変わることがなく、あなたの年は尽きることがないということです。まさに御子は永遠に不変であるのです。

「イエス・キリストは、昨日も今日も、
とこしえに変わることがありません。」 (ヘブル13:8)。

● 「あなたは変わることがない」ことを、ヘブル語ではどのように表現するでしょうか。それは「アッター・フー」で「あなたはあなた」。

אַתָּה־הוּא

今日のまとめ

【新改訳2017】伝道者の書 3章14節
私は、神がなさることはすべて、永遠に変わらないことを知った。それに何かをつけ加えることも、それから何かを取り去ることもできない。人が神の御前で恐れるようになるため、神はそのようにされたのだ。

●世にあるすべては移ろう草のようです。朝は花を咲かせていても、夕べにはしおれて枯れます。しかし、神のご計画とみこころ、みむねと目的は変りません。神の定めとその時も変わりません。そのことを知って生きる者は幸いです。